

## 「過労死をなくそう！龍基金」 企業名公表を求め闘う 寺西笑子さんが受賞

「過労死をなくそう！龍基金」第  
四回中島富雄賞の授賞式（『週刊  
金曜日』協賛）が一日、一三〇人  
を集めて東京・葛飾区内で開かれ、  
過労死を出した企業名の公表を求  
めて裁判を起こしている全国過労  
死を考える家族の会代表の寺西笑  
子さんに同賞が贈られた。

「龍基金」は外食最大手「すかい  
らーく」グループのファミリール  
스토랑店長で二〇〇四年夏に過  
労死した中島富雄さん（当時四八  
歳）の妻・晴香さんが過労死の根  
絶と被害者支援を目的に〇六年一  
二月に設立。以来、毎年夏に過労  
死をなくす運動などに貢献のあつ

た団体や個人を表彰している。

受賞した寺西さん（京都市在住）  
は、飲食店チェーンの店長だった  
夫（当時四九歳）を一九九六年に  
過労自殺で失くし、労災認定や会  
社側との裁判闘争を一年にわた  
り続けた。〇八年から全国過労死  
を考える家族の会代表を務め、〇  
九年一月、過労死を出した企業  
名の公表を求めて国（労働局）を  
提訴。過労死防止基本法の制定を  
めざす運動にも取り組んでいる。



表彰状を手にする寺西笑子さん。（撮影／筆者）

中島代表から表彰状を贈られた  
寺西さんは「過労死が起こらない  
ようにすることが大切。そのため  
に裁判を起こした。一〇月には衆  
議院議員会館で院内集会を開く。  
みんなで手をつなぎ過労死を根絶  
する社会を作りたい。その先頭に  
遺族の怒りがある」と述べた。

続いて、日本弁護士連合会会長

で本誌編集委員、反貧困ネットワ  
ーク代表の宇都宮健児弁護士が記  
念講演。「遺族が先頭に立って過  
労死根絶を訴えている姿に感動し  
た」として、自身の関わったサラ  
金問題や貧困問題とからめて「被  
害者自らが立ち上がることで社会  
を動かしてゆく」などと話した。

片岡伸行・編集部